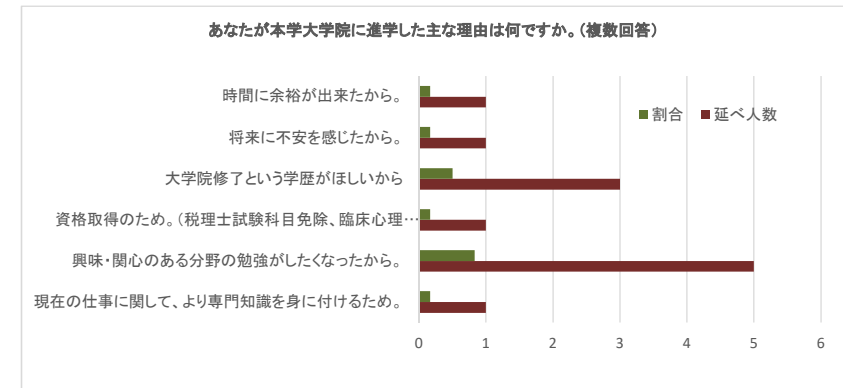


「2019年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科 1／7)

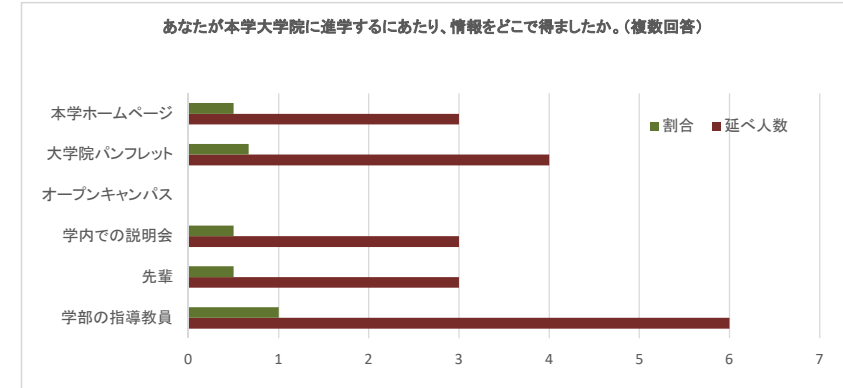
2. あなたが本学大学院に進学した主な理由は何ですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	現在の仕事に関して、より専門知識を身に付けるため。	1	17%
B	興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから。	5	83%
C	資格取得のため。(税理士試験科目免除、臨床心理士試験受験資格、教員専修免許等)	1	17%
D	大学院修了という学歴がほしいから	3	50%
E	将来に不安を感じたから。	1	17%
F	時間に余裕が出来たから。	1	17%
G	その他	0	0%
G:理由			
-	-		



3. あなたが本学大学院に進学するにあたり、情報をどこで得ましたか。(複数回答)

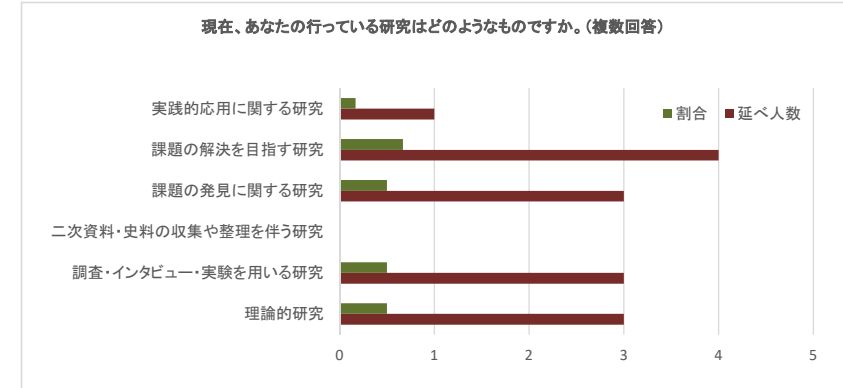
項目	内容	延べ人数	割合
A	学部の指導教員	6	100%
B	先輩	3	50%
C	学内での説明会	3	50%
D	オープンキャンパス	0	0%
E	大学院パンフレット	4	67%
F	本学ホームページ	3	50%
G	その他	0	0%



4.あなたの研究についてお尋ねします。

①現在、あなたの行っている研究はどのようなものですか。(複数回答)

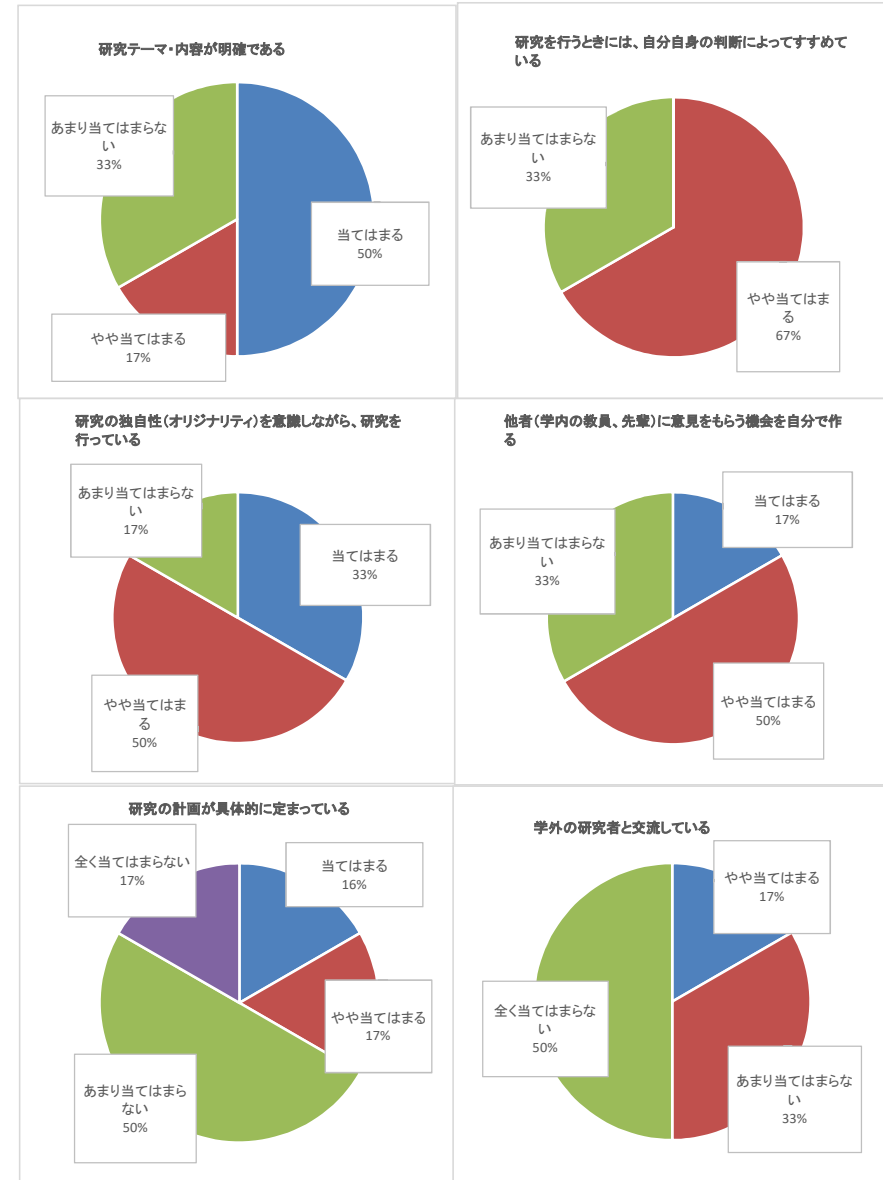
項目	内容	延べ人数	割合
A	理論的研究	3	50%
B	調査・インタビュー・実験を用いる研究	3	50%
C	二次資料・史料の収集や整理を伴う研究	0	0%
D	課題の発見に関する研究	3	50%
E	課題の解決を目指す研究	4	67%
F	実践的応用に関する研究	1	17%
G	その他	0	0%
G:具体的内容			
-	-		



「2019年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科 2/7)

②現時点における研究の状況はどのようになっていますか。

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
研究テーマ・内容が明確である	3 (50%)	1 (17%)	2 (33%)	0 (0%)
研究の独自性(オリジナリティ)を意識しながら、研究を行っている	2 (33%)	3 (50%)	1 (17%)	0 (0%)
研究の計画が具体的に定まっている	1 (17%)	1 (17%)	3 (50%)	1 (17%)
研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている	0 (0%)	4 (67%)	2 (33%)	0 (0%)
他者(学内の教員、先輩)に意見をもらう機会を自分で作る	1 (17%)	3 (50%)	2 (33%)	0 (0%)
学外の研究者と交流している	0 (0%)	1 (17%)	2 (33%)	3 (50%)



「2019年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科 3／7)

5.今年度、大学院で開講されている授業についてお尋ねします。

①今年度、あなたは何科目履修しましたか。

	人数	割合
0科目	0	0%
1～2科目	1	17%
3～5科目	0	0%
6～10科目	3	50%
11科目以上	2	33%

②(1)その中で今後あなたが研究をすすめるにあたって、大いに役立つと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	5	83%
B	ない	1	17%
C	科目の履修はしていない	0	0%
	無回答	0	0%

②(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点が役に立つと思ったのですか。

	科目名	理由
地産M1	経済情報解析特論A	分析をする際の手法の知識が得られるため
地産M1	経済情報統計解析特論A	統計データを使った分析を自分の研究でも応用することができるから。
地産M1	マーケティング特殊研究Ⅰ	研究および論文に関する論理的な考え方や展開など、あらゆる視点からアドバイスをいただいたため、研究を深めることができたから。また、様々なアプローチをもらえたことで新たな展開を進めることができたため。
地産M2	産業組織研究Ⅱ	修士論文に関する議論が出来る場所であり、様々な助言が貰えるため
地産M1	産業組織特論	ミクロ経済学だけでなく、沖縄の歴史について学ぶ機会もあり、今後の事として役立つと思いました。

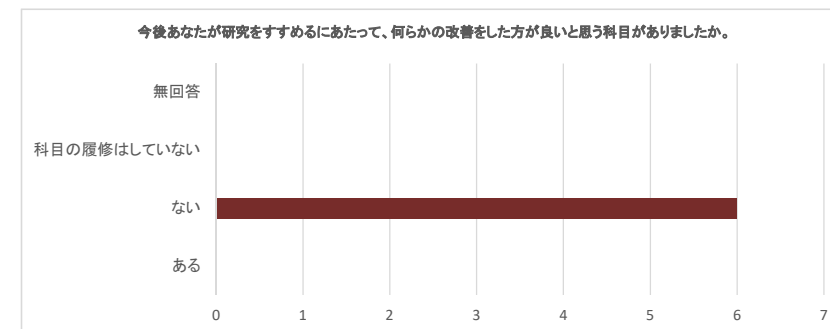
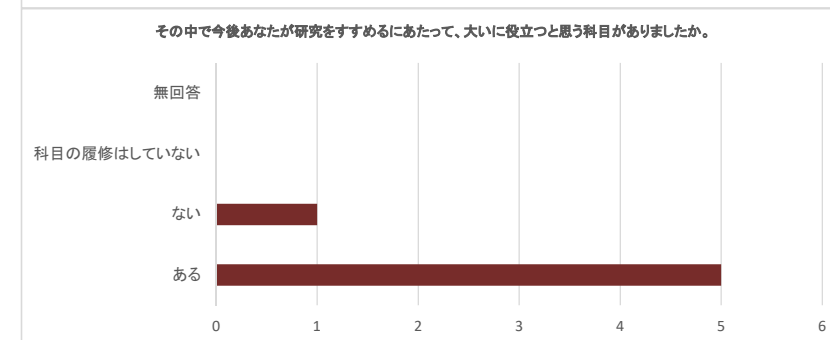
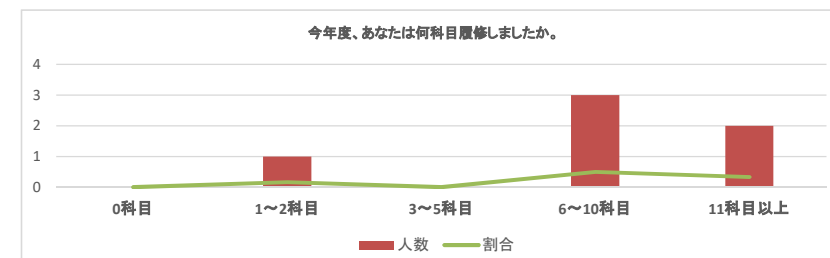
③(1)今後あなたが研究をすすめるにあたって、何らかの改善をした方が良いと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	0	0%
B	ない	6	100%
C	科目の履修はしていない	0	0%
	無回答	0	0%

③(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点の改善した方が良いと思ったのですか。

--	--	--



「2019年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科 4/7)

6. あなたの研究に関する現在の指導体制・環境についてお尋ねします。

①現在の指導体制・環境に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	5	83%
B	満足していない	0	0%
C	どちらでもない	1	17%
	無回答	0	0%

②満足できない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ) 該当なし

-	-
---	---

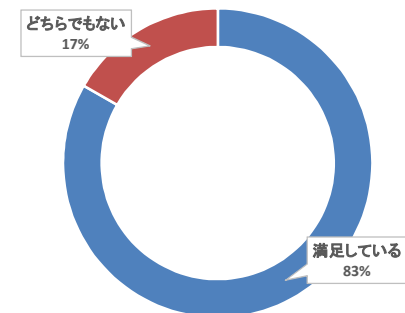
③指導体制、方法、環境に関して、入学前に担当教員によるオリエンテーションがあった方がよいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	あった方がよい	6	100%
B	なくてもよい	0	0%
C	どちらでもよい	0	0%
	無回答	0	0%

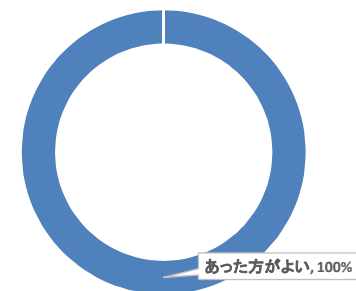
④その他、指導体制、方法、環境に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

地産M2	入学後に厳しく言われると従わないといけないが、包み隠さず試験前に伝えたほうが入学後に満足度は高まると思う。論文が重要だとのことだが、学部時代にそこまで論文に精通していない人は、基礎的な論文指導やワークショップ的なことを単位講義としてあってもいいかと思う。他大学院性で同じような研究をしている人たちの交流があると刺激になりますね。
地産M1	これから入院される院生のために、研究を進めるで必要な論文の書き方や統計学の知識などを、科目または補足の講義を提供することで、より研究を深めることができると思います。

現在の指導体制・環境に満足していますか。



指導体制、方法、環境に関して、入学前に担当教員によるオリエンテーションがあった方がよいですか。



「2019年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科 5／7)

7. 大学院の施設・設備についてお尋ねいたします。

①大学院の研究や論文作成のための施設・設備に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	3	50%
B	満足していない	2	33%
C	どちらでもない	1	17%
	無回答	0	0%

②満足していない理由は何か。(①でBと回答した方のみ)

地産M1	①大学院のパソコン教室にSPSSなどのソフトが2台しか導入されていないため、不足していると感じる。 ②施設内の利用時間が11時までなので不便を感じる時がある。
地産M2	参考文献の印刷や発表資料等を出力するための設備が不十分。また、資料のコピーをするための設備も不十分

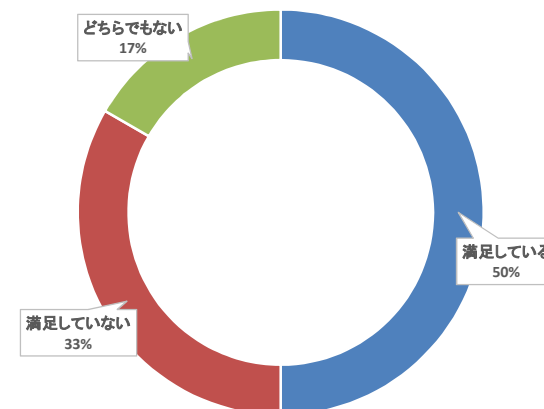
③講義や課題や論文の作成にあたり、大学の設備(研究室及び図書館等)を利用していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	2	33%
B	たまに利用している	4	67%
C	全く利用していない	0	0%
	無回答	0	0%

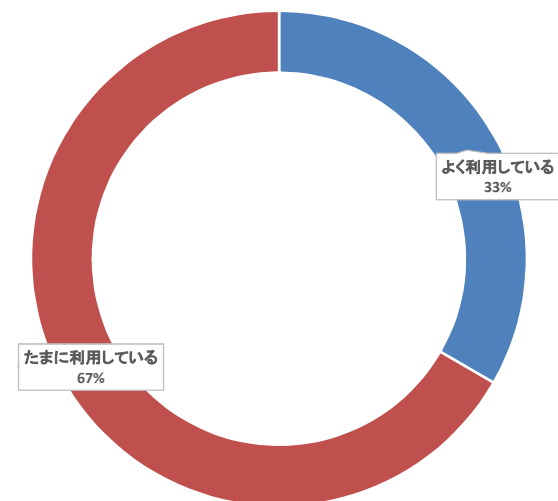
④その他、大学院の施設・設備に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

地産M1	①海外の論文サイトの契約を増やしてほしい(先行研究をより深めたいため)。 ②本など参考文献をPDFに取めたいため手軽で早くスキャンができる機械を入れてほしい。
地産M2	図書館での資料のコピーや印刷の設備が不十分

大学院の研究や論文作成のための施設・設備に満足していますか。



講義や課題や論文の作成にあたり、大学の設備(研究室及び図書館等)を利用していますか。



「2019年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科 6／7)

8. 教育支援者(TA・SA)制度についてお尋ねいたします。

①あなたは、現在、教育支援者(TA・SA)として、学部授業のサポートを行っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	行っています	2	33%
B	行っていない	4	67%
C	過去に経験があります	0	0%
	無回答	0	0%

②M2以降も、教育支援者(TA・SA)を続けたいと思いますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	続けたい	2	33%
B	続けたくない	0	0%
C	どちらでもない	0	0%
	無回答	4	67%

③上記②において、その回答を選んだ理由は何ですか。

地産M1	生徒にアドバイスをすることで、自分の修論の整理にも繋がる
地産M1	先生のサポートをすることで、先生の視点に立った考え方を知ることができ、新たな考え方や知識を深め、さらには教育支援者としての経験をすることができるため。また、先生と生徒とのそれぞれの考え方や価値観を知ることができる。さらには、先生の側で教育支援者として続けることで、先生から自分の研究や進路などについてアプローチをもらうことができるため。

④教育支援者(TA)経験が無い方へ質問です。教育支援者(TA)の経験をしてみたいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	してみたい	4	67%
B	してみたくない	0	0%
C	どちらでもない	0	0%
	無回答	2	33%

⑤上記④において、その回答を選んだ理由は何ですか。

地産M2	大学で指導者を目指すためには、TAとして経験することは大事だと思う。収入源としても確保したい。
地産M1	他者に知識をアウトプットすることで自分の勉強にもなるから。
地産M2	貴重な経験をしたいため。
地産M1	自分の勉強になるし、教育する目線・立場というものが分かりそうであるから

「2019年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科 7/7)

9. 本学に付置している研究所についてお尋ねします。

①本学にある4研究所を知っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	知っている	5	83%
B	知らない	1	17%
C	興味がない	0	0%
	無回答	0	0%

②本学の研究所の施設を利用したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	0	0%
B	たまに利用している	2	33%
C	全く利用していない	3	50%
	無回答	1	17%

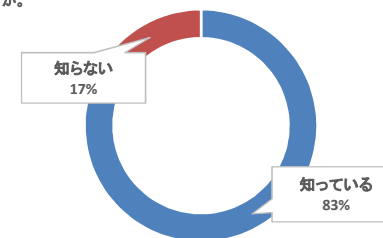
③本学の研究所が主催する「研究会」などのイベントに参加したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく参加している	1	17%
B	たまに参加している	3	50%
C	全く参加していない	1	17%
	無回答	1	17%

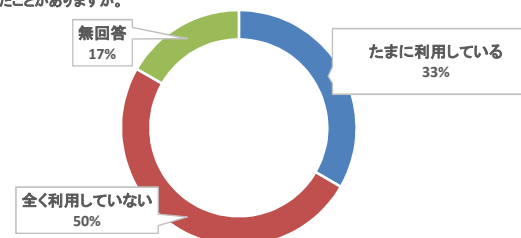
10. その他、ご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。(時間数、科目の種類など)

地産M2	大学院を努力したが留年した際には、授業料を安くしたり免除したりなどの経済的なサポートをしてほしい。生活をしないといけないため、多くの学生はアルバイトをしながら、授業を工面しており、結局は研究などに集中できていない。それゆえにTA制度は良いのではないかなと思う。
地産M1	開設していないコースはパンフレットに記載しないほしい。
地産M1	TAで時間外活動で遠征などのサポートを行った際には、補助金制度を設けてほしい(自己負担の軽減)。
地産M2	研究資料を閲覧するための部屋の資料をさらに充実させたい。また決まったタイミングで、一度に注文するのではなく、欲しいときに、必要な資料を入れるようにしていただけたらさらに研究が捗る。
地産M1	今後、働き方改革等で、社会人の余暇が増加し、社会人大学院生が増加する事が想定されると思われます。その中で、沖縄の企業へ勤務する社会人の方が今以上に通いやすい環境があれば、なお良いと思います。→例えば平日遅い授業の増加、土日に受講できる授業の増加など。

本学にある4研究所を知っていますか。



本学の研究所の施設を利用したことがありますか。



本学の研究所が主催する「研究会」などのイベントに参加したことがありますか。

